



地域の人の楽しんでもらえるような案を出すのは難しいですが、研究とは違った楽しさがあります。このような活動をできるのは、地域との交流を大切にする岩ヶ崎高校だからだと思います。

今年度は一年生が入らず、昨年よりも大変になることがあるかも知れませんが、自分の「気になる」という気持ちを大切に、部員全員で支え合いながら日々の研究に取り組んでいこうと思います。私たちの活動は、地域の皆さんの協力に支えられてきました。これからも私たちの活動を応援していただければ幸いです。



葛岡重利元同窓会長が令和5年の叙勲 旭日双光章を授賞されました。令和6年1月19日に祝賀会が行われました。



▲ 今年完成した新しい尚志館



同窓会入会式

同窓会事務局 吉澤 和宏

令和5年度同窓会入会式は令和6年2月29日に本校視聴覚室において行われました。蘇武会長、本部長3名のほか、東京岩高会から和久充さんの臨席を賜り、執り行いました。新しく卒業生36名が入会となりました。卒業生代表として伊藤愛理さんが、入会の宣誓をしました。その後、記念品として同窓会より卒業証書ホルダーおよび伊藤末治郎氏（S28卒）の著書『なせばなる』を卒業生全員に贈られました。

同窓会総会のお知らせ

令和六年度同窓会総会が次の日程で開催されます。

日時 令和六年八月三日(土)
午後三時より

会場 ベルデイ栗駒

◎問い合わせは
岩ヶ崎高校同窓会事務局へ
電話 0228-45-2266



令和5年12月26日に東京ドームシティ(東京都文京区)で行われた「We are SNEAKER AGES」全国大会に軽音楽部が出場しました。

進路状況

進路指導部長
済渡 香純

本校は令和五年度より地域進学重点校改革推進事業の北部地区改革推進校として、探究的な学びの改革を推進しています。探究的な学びは、学びにおける主体性を育むだけでなく、社会の課題に関心を持ち、その解決に向け行動する力を養うことができます。本校では地域コーディネーターを配置し、地域で御活躍されている皆様に生徒の探究的な学びを支えていただいております。学校だけでは体験できない、教科横断的で実践的な学びを充実させることができました。また、国際教育を取り入れることにより、地球市民としての自覚を持ち、多様な文化を尊重する姿勢や社会の課題に対する広い視野を持つことで、将来のキャリアを考える際にも生かすことができるようになりました。

昨年度卒業生の進路は、探究的な学びを通して考えた将来のビジョンに向け、考え抜いた進路先となりました。卒業生は三十六名となりましたが、東北大学をはじめとする国立大学へ八名の合格や、中央大学を

令和5年度卒業生進路状況(令和6年3月31日現在)

国公立大学

大学	学部	学科・専攻	合格者数
東北大学	経済	経済	1
室蘭工業大学	理工	システム理化学	1
山形大学	理	理	1
名寄市立大学	保健福祉	栄養	1
釧路公立大学	経済		2
秋田県立大学	システム科学技術	機械工	1
北九州市立大学	地域創生	地域創生	1
合計			8

私立大学

大学	学部	学科・専攻	合格者数
東北学院大学	法	法	3
	経済	経済	2
	工	電気電子工	1
東北福祉大学	総合福祉	福祉心理	2
	教育	教育・初等教育 教育・中等教育	1 1
東北工業大学	工	電気電子	1
	ライフデザイン	経営コミュニケーション	1
宮城学院女子大学	現代ビジネス	現代ビジネス	1
	学芸	日本文学	2
	教育	教育・児童教育	2
東北生活文化大学	美術	美術表現	1
東北文化学園大学	医療福祉	リハビリテーション・理学療法 看護	1 1
	経営法	経営法	1
	体育	体育	1
尚綱学院大学	心理教育	子ども	1
	健康栄養	健康栄養	1
仙台白百合女子大学	人間	子ども教育	1
仙台青葉学院大学	リハビリテーション	リハビリテーション・理学療法	1
石巻専修大学	経営	情報マネジメント	1
	人間	人間教育	1
	理工	情報電子工	1
		生物科学・海洋生物環境	1
酪農学園大学	農食環境	環境共生	1
札幌大学	地域共創	経済	1
中央大学	経済	経済	1
日本大学	工	電気電子工	1
		機械工	1
専修大学	法	法律	2
白鷺大学	法	法律	1
	経営	経営	1
文教大学	健康栄養	管理栄養	1
亜細亜大学	経営	経営	1
武蔵野大学	経済	経済	2
	法	法律	2
東海大学	生物	生物	1
	体育	体育	1

私立大学続き

大学	学部	学科・専攻	合格者数
国際医療福祉大学	保健医療	言語聴覚	1
		看護	1
	薬	薬	1
関東学院大学	経営	経営	1
	法	法・行政	1
国士館大学	体育	体育	1
	政経	経済	1
相模女子大学	学芸	英語文化コミュニケーション	1
麗澤大学	国際	グローバルビジネス	1
日本国際大学	経営情報	ビジネスデザイン	1
駿河台大学	法	法律	1
合計(延べ)			58

国公立短期大学

短期大学	学科・専攻	合格者数
岩手県立大学宮古短期大学部	経営情報	2
大月短期大学	経済	1
合計		3

私立短期大学

短期大学	学科・専攻	合格者数
聖和学園短期大学	保育	1
	キャリア開発総合	1
合計		2

大学校

短期大学	学科・専攻	合格者数
東北職業能力開発大学校	生産機械技術	1
合計		1

高等看護専門学校

学校名	合格者数	
仙台医療センター附属仙台看護助産学校	1	
気仙沼市立病院附属看護専門学校	1	
岩手県立一関高等看護学院	1	
水沢学苑看護専門学校	1	
合計(延べ)		4

その他の専修・各種学校

学校名	学科・専攻	合格者数
宮城高等歯科衛生士学院	歯科衛生士	2
仙台医療福祉専門学校	社会福祉	1
大崎市医師会附属看護学校		1
合計(延べ)		4

民間就職

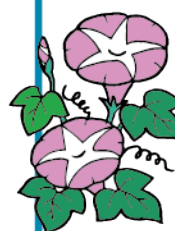
会社名	合格者数	
HOYA株式会社ペンタックススライファ事業部宮城事業所	1	
株式会社ウジェスパー	1	
合計		2

卒業生	36名
-----	-----

はじめとする私立大学へ延べ七十八名が合格することができました。また、就職においても、希望する進路へ進むことができました。特に、出願の際に必要な志願理由や、面接やプレゼンテーションの試験にお

いては、探究的な学びから得た気付きや思考の深さが求められますが、大いに生かすことができました。この恵まれた学びの環境である地域性を生かし、地域の皆様、同窓生の皆様と共に生徒達の挑戦を支えて

いきたいと考えております。今後とも御支援を賜りますようお願いいたします。



令和5年度 会計決算書報告 令和6年3月31日現在

- 収入合計 1,490,190 円
- 支出合計 1,009,473 円
- 差引残高 480,717 円 (次年度へ繰越)

1. 収入の部

項目	決算額	摘要
1 入会金	129,600	3,600円×36名
2 協力金	622,000	
3 前年度繰越金	638,476	
4 雑収入	100,114	預金利子、積立満期金
合計	1,490,190	

2. 支出の部

項目	決算額	摘要
1 卒業記念品	47,520	卒業証書ホルダー
2 支部助成費	150,586	東京支部、仙台支部へ
3 旅費	169,768	
4 本部総会費	66,820	総会補助
5 会報印刷費	171,050	2,500部
6 入会式費	0	
7 事務費	341,512	
本部事務費	12,228	各種郵送代ほか
振込手数料	65,108	
会報送付委託料	264,176	株サラトへ
8 役員会費	7,110	会議用お茶等
9 慶弔費	0	
10 積立金	0	
11 雑費	55,107	
合計	1,009,473	

卒業年度別協力金の協力者内訳

S20	2人	S48	7人	H13	2人
S21	0人	S49	8人	H14	2人
S22	1人	S50	4人	H15	0人
S23	0人	S51	6人	H16	0人
S24	0人	S52	3人	H17	0人
S25	0人	S53	6人	H18	1人
S26	5人	S54	9人	H19	0人
S27	7人	S55	8人	H20	2人
S28	5人	S56	5人	H21	1人
S29	8人	S57	0人	H22	1人
S30	6人	S58	1人	H23	0人
S31	5人	S59	2人	H24	1人
S32	4人	S60	2人	H25	0人
S33	5人	S61	2人	H26	1人
S34	7人	S62	2人	H27	1人
S35	7人	S63	0人	H28	0人
S36	5人	H01	2人	H29	1人
S37	18人	H02	1人	H30	1人
S38	10人	H03	0人	H31	1人
S39	3人	H04	2人	R02	2人
S40	8人	H05	0人	R03	0人
S41	10人	H06	1人	R04	1人
S42	6人	H07	1人	R05	1人
S43	10人	H08	3人	現職員	0人
S44	3人	H09	0人	旧職員	18人
S45	14人	H10	0人	鶯工	8人
S46	5人	H11	2人	一般個人	2人
S47	8人	H12	2人	合計	288人

(一人2,000円~10,000円)

協力金 622,000円 - 振込手数料 60,268円 = 合計 561,732円

お願い 同窓会の運営資金が逼迫しています。円滑な運営を図るためにも、皆様からの協力金をお願いします。

援のお礼といたします。

皆様方のご多幸をお祈りし、ご支援をお願い申し上げます。

への勧誘や重口のご協力をぜひとも願って同窓会活動をより一層積極的に

本年も大勢の皆様から貴重なご援助を賜り厚くお礼申し上げます。すでにご案内の通り、お寄せいただき

ました協力金は卒業生への記念品をはじめ学校施設充実への補助、支部への助成そして会員を結ぶ絆である

会報の発行・発送等に充てられております。まさに同窓会活動に欠かせ

ない協力金ですが、実は減少傾向に長くあり、改善の見通しも全くついておりません。昨今の物価上昇もあって

運営資金は余裕のない状態です。早晩一口二千円の協力金の見直し

でも検討せざるを得ないと考えています。今後母校の更なる発展を



さて今回は、会長はじめ役員も刷新されたので、改めて編集委員を紹介させていただきます。

蘇武徳行 (S47) 菅原厚子 (H4) 高橋勝男 (S51) 阿部豊喜 (H5) 菅原浩紀 (S54) 菅原英史 (H6) 菅原茂樹 (S53) 三浦大樹 (H11) 土井祐之 (S54) 最上良元 (H20) 石渡健一 (S59) 岡崎晃幸 (H22) 佐藤一繁 (H3) 大江洋樹 (S56)

以上の心強いメンバーで邁進して参りますので、今後共よろしくお願い致します。

最後に市長はじめ快諾して頂きました寄稿者の皆様、先生方、会員各位に感謝を申し上げ、後記と致します。

